

腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられる()さんへ

説明日(/)		説明者()		STA6300010			
月日(日時)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/)
経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術後(病棟観察室入室)	手術後1日目	手術後2~4日目	手術後5日目(退院)
達成目標	◇身体的準備ができています ◇精神的準備ができています ◇手術について理解できる			◇深部静脈血栓症の症状・徴候がない ◇合併用の症状・徴候がない ◇経口摂取が可能な状態にある ◇呼吸状態が安定している ◇血圧・脈拍が安定している	◇離床ができる ◇疼痛のコントロールができています ◇感染の徴候がない ◇創部に問題がない		◇日常生活の注意点について理解できる 【退院基準】 ・発熱がない ・疼痛のコントロールができています ・感染の徴候がない ・創部に問題がない
治療・薬剤 (点滴・内服)	内服がある方はお薬を確認します ワーファリンを飲んでいる方は 点滴に変わることがあります	手術する部位の毛を剃ります おへそをきれいにします 絶食になるため点滴を始めます 15時に下剤を飲みます 21時に下剤と安定剤を飲みます	麻酔科医の指示で起床時に 薬を内服する場合があります 6時に洗腸します 手術着に着替えます 弾力ストッキングをはきます	酸素マスクをしています 点滴を24時間行います 心電図モニターをつけます 抗生剤の点滴があります1日2回 手術前から内服している薬がある方は 医師の指示で薬を再開します	医師の指示で中止になります 点滴を24時間行います 心電図モニターをつけます 抗生剤の点滴があります1日2回 ※医師の診察があります		創部の処置が必要な場合は医師から 説明があります 抜糸は外来受診日に行います
検査	採血・レントゲン・心電図 肺機能検査があります 身長・体重を測定します			胸のレントゲン・採血があります	※医師の指示で採血・レントゲンなどの検査があります		
活動・安静度	病院内の歩行は自由です			ベッド上安静です 寝返りは出来ます	翌日から看護師と一緒に立つ 練習をします 診察後から病棟内の歩行は自由です		
安全	ベッド柵を2本設置します ナースコールを設置します 運動靴の使用をお願いします						
食事	食事制限はありません	夕食から食事は中止です 水分は()時まで飲めます ※麻酔科医師の指示を確認し お知らせします	絶食・水分も取れません		水分を取る事ができます 術後1日目の昼から全粥が開始になります。徐々に食事形態を上げていきます		
清潔	入浴やシャワーができます	体を清潔にし髪を洗って下さい 爪切りをしてください	洗面・歯磨きをして下さい 男性は髭剃りもして下さい		体拭きをします	傷の状態が良ければ術後 2日目からシャワーに入れます (医師の指示で変更あり)	
排泄	毎朝、便(性状)・尿回数を 確認します			尿の管が入ってきます 排便時は、ベッド上で便器または オムツを使用します	尿の管を抜きます 必要時尿器を設置します		
患者様及び ご家族への 説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	病棟の案内をします 手術までの流れについて わからないことは説明します 呼吸訓練を続けて行います ★腹式呼吸・口すぼめ呼吸 ★咳・痰出しの練習 ★術後疼痛の説明をします ★主治医から治療についての 説明があります ★薬剤師から現在内服中 のお薬について説明します ★禁煙はできていますか？ ★必要に応じ、担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)がお話を伺いながら転院・退院までの支援を行います	★麻酔科医師から麻酔について 説明があります ★手術室看護師が訪問します	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡 コンタクトレンズ・かつらなどは 手術室に行く前に外します 貴重品は必ずご家族に 預けてください 手術中、家族の方は4階の 家族控え室か病棟にてお待ち 下さい。 離れる際は必ず病棟まで連絡 をお願いします 手術終了時はご連絡します ★主治医から手術後に 説明があります	★手術後は病棟の観察室に入室します (医師の指示まで) 手術後の安静についてご説明します 呼吸訓練を1日3回 します痰をしっかり 出して肺を広げ 肺炎を予防しましょう ★痛みが強い場合や吐き気等の症状が ありましたら、お薬を使用します 遠慮なくお知らせください	医師の診察後自室に戻ります 安静度について説明します ★痛みが強い場合や吐き気等の症状が ありましたら、お薬を使用します 遠慮なくお知らせください	退院後の注意点について 説明します ★付け替えが必要な方については、自宅での付け替え方法 について医師や看護師から説明します ★テーピング固定が必要な方については、テープの貼り方、 テープの購入について、パンフレットをお渡しします ★手術を受けた創部の出血や浸出液が出るなどの症状、 ご心配な点がありましたら遠慮なく後連絡ください	再来日の説明をします 診断書・証明書が必要な方は早めに 提出してください 薬剤師より退院処方の説明があります

注1: 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。
注2: 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 肝胆腸外科 西棟11階病棟
2023年7月改訂